



糖尿病タイムズ

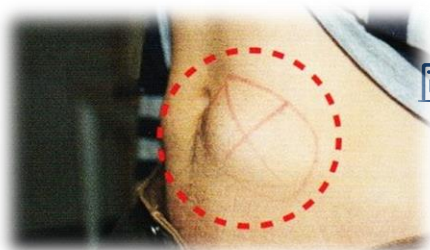
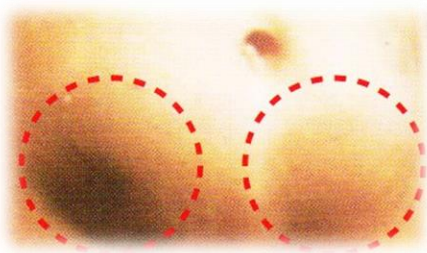


第9号（平成29年 9月1日発行）

糖尿病で自己注射をされている方へ

皆さんのお腹にぽっこりしたふくらみ（「しこり」）はありませんか？
第9号は、インスリン注射とお腹の「しこり」の関係についてお話しします。

自己注射、打ちやすい場所や痛くない場所ってありますよね。



同じ場所に注射を打ち続けると、皮膚がかたくなって「しこり」ができてしまうことがあります。

「しこり」が
できたらどう
なるの？

「しこり」ができると、インスリンの効きが悪くなり、
血糖値が下がりにくくなる可能性があります。

正常皮膚に注射したとき



しこりに注射したとき

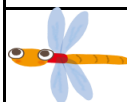


イメージ図

「しこり」をなくすポイント

- 広い範囲を使って針を刺す場所を毎回2～3cmずらしましょう。
- 「しこり」への注射を避けましょう。
- 「しこり」ができていないか、注射部位を触って確認しましょう。
- 毎回新しい針を使用しましょう。

「しこりを」見つけたら、かかりつけの医師や看護師、または、薬剤師にご相談下さい。



＜編集後記＞

残暑が続きますが、引き続き脱水には気を付けましょう！

発行元： 市立三次中央病院
糖尿病療養指導チーム
文責： 薬剤師（田畑貴康・中村武司）